

「第二回建築における蓄熱技術セミナー」

【開催趣旨】

ZEHやZEB標準化の流れに伴って、省エネだけでなく快適性・健康性に対する効果にも注目が集まっています。建物を高断熱化することは、暖房エネルギーを削減しつつ、室内温熱環境を改善することに繋がりますが、高断熱化された建物において「蓄熱」効果を付加することにより、その価値がさらに高まることが明らかになりつつあります。また、再生可能エネルギーの自家消費率向上やレジリエンスの観点からも蓄熱設備に対する期待が高まっています。こうした中で、建築における顕熱・潜熱蓄熱技術を利用した建材や設備の最新動向を共有しつつ、今後の方向性を考える機会を設けられればと思います。

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会 ソーラー建築部会

協賛：一般社団法人日本潜熱蓄熱建材協会

日時：令和2年12月10日 13:00～16:30

会場：ZOOMを用いたウェビナー形式

定員：100名（先着順）

参加費：会員、協賛団体会員2,500円、非会員5,000円、学生2,000円（pdf配布テキスト含む）

参加方法：参加申込書またはホームページ掲載の申込書にご記入のうえ、日本太陽エネルギー学会事務局までE-mail、FAXにてお送りください。参加費は出来るだけ事前振込をお願いいたします。

振込口座：三菱UFJ銀行・新宿中央支店・普通・3227375 [イッパソジャダソクゾソニホソタイヨウエネルギーガクカイ]

お申し込み者へは、後日Webinarの招待メールを送りますので、そこからご入場ください。

講演プログラム（講演者敬称略）

- 13:00～13:10 趣旨説明・司会 本学会ソーラー建築部会 部会長 太田 勇
- 13:10～13:40 住宅の蓄熱性能評価と暖冷房負荷に及ぼす影響 建築研究所 西澤繁毅
- 13:40～14:10 潜熱蓄熱建材普及に向けた取り組み 日本潜熱蓄熱建材協会 横山昌弘
- 14:10～14:40 履歴現象を考慮した潜熱蓄熱材の計算 佐藤エネルギーリサーチ 芹川真緒
(休憩) 10分
- 14:50～15:20 躯体蓄熱型放射冷暖房を採用した小学館ビルにおける躯体蓄熱効果の検証
東京大学/スタジオノラ 谷口景一郎
- 15:20～15:50 潜熱・顕熱蓄熱建材の高断熱木質住宅における有効性
ミサワホーム総合研究所 佐藤理人
- 15:50～16:20 総合討論～建築における蓄熱技術のあるべき姿と今後の方向性～
- 16:20～16:30 まとめ 東京都立大学(名誉教授) 須永修通

